

# 第100期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

## 株式会社 オーバル

証券コード：7727

### 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第100期上半期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が順調に進んでおりますが、変異株を主要因とする感染拡大の波が断続的に訪れ、経済活動の完全な再開に向けて未だ予断を許さない状況が続いております。また、米中对立や半導体需給逼迫の影響も引き続き懸念されております。一方で急速に活発化した脱炭素化への流れを背景に、公共投資および企業による設備投資の拡大が期待されております。わが国経済は、ワクチン接種の進展による経済活動回復への期待感から改善の兆しが見え、設備投資計画も上向きではありますが、コロナ禍前の水準には達しておらず、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当企業グループは、2021年2月に2022年3月期まで1年間延長することを公表いたしました中期経営計画「ADVANCE 2.0 - 2021」の最終年度として「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。

当企業グループは、これまで培った豊富な実績と確かな技術で微小な量から大流量までの対応が可能な水素計測用流量計の商品ラインアップを取り揃えておりますが、当第2四半期連結累計期間では、脱炭素社会に向けて、熱式質量流量計、ガス用容積流量計、コリオリ流量計、渦流量計の更なる拡販を展開してまいりました。また、水素サプライチェーンの構築に向けて液体水素計測用の流量計の実用化にも取り組んでまいりました。

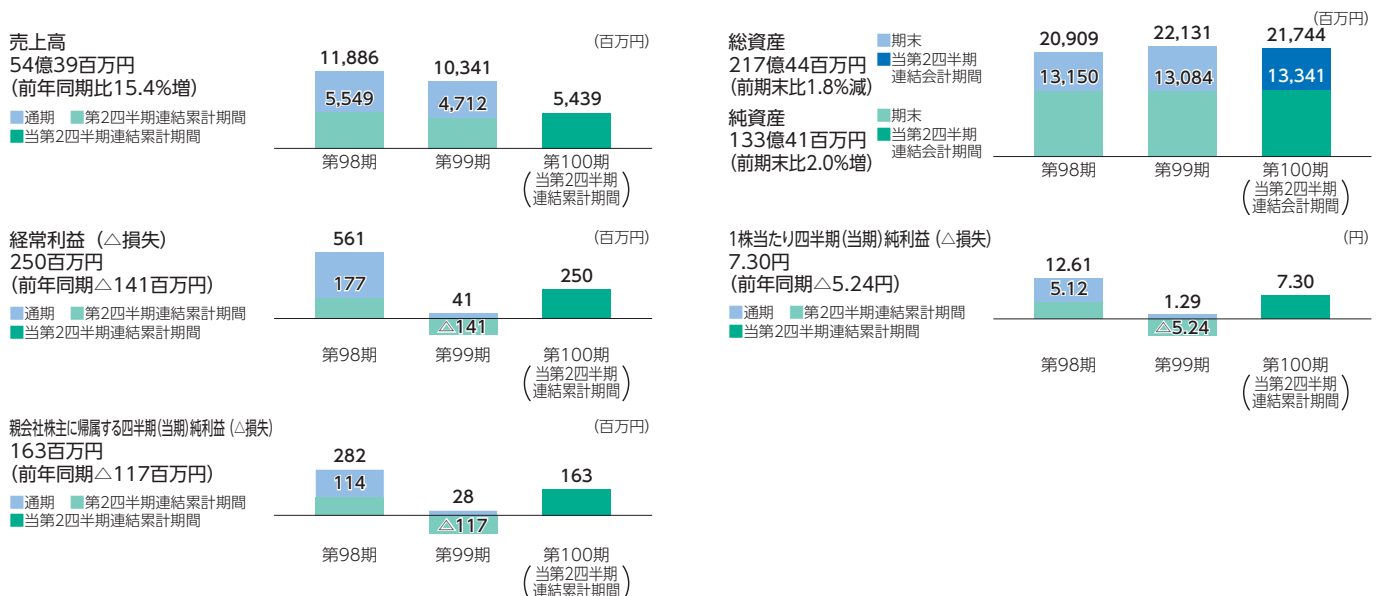
その結果、受注高は6,208百万円（前年同四半期比21.6%増）、売上高は5,439百万円（同15.4%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加、当企業グループ内のサプライチェーン見直しによる材料費率の低減、また各種経費の圧縮により、営業利益は165百万円（前年同四半期は営業損失193百万円）、経常利益は250百万円（前年同四半期は経常損失141百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失117百万円）といずれの利益におきましても前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を継続して行うことを経営の重要課題の一つとしております。配当につきましては、最も重視すべき株主の皆様に対する利益還元であると認識し、会社の経営基盤の確保と将来の事業展開に備えた財務体質の充実を総合的に勘案し決定することを基本方針としております。この基本方針を踏まえ、当期の中間配当金を1株につき3円とさせて頂きました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を頂き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

### 連結財務ハイライト



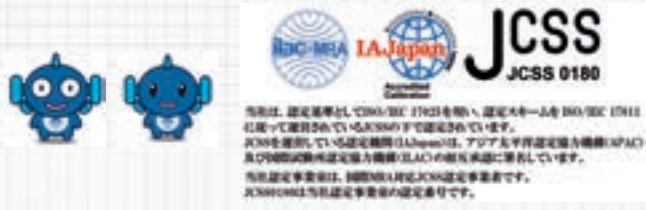
## ① 横浜事業所パイプルーバー更新



パイプルーバーは石油用流量計の試験や校正のための設備で、当社の精度管理の中核を担う設備となります。

1982年（昭和57年）に横浜市金沢区臨海工業団地に横浜事業所を開設した当初より石油用流量計の校正設備として約39年間使用してまいりましたが、老朽化のため、2021年7月に全面更新いたしました。安全面・環境面に配慮した設計に加え、2019年9月に発生した台風15号による高波被害の経験より、浸水防止処置も施しており更なる安全確保に努めております。

当社は、国内最高レベルの校正設備を活用して、計量法に基づくJCSS登録事業者として、更に高精度、高品質な商品・校正サービスを提供してまいります。



当社は、認定標準としてISO/IEC 17025を施行し、認定体系番号 BNA/016/17111 に従って業務を営んでいられ、JCSSのJFで認定されています。  
JCSSを運営している認定機関はI.A.Japanが、アジア太平洋認定国機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(IAC)の相互承認に属しています。  
当社は認定事業者は、I.A.JapanよりJCSS認定事業者です。  
JCSS016は当社の認定事業者の認定番号です。

## ② 第1回 FC EXPO 水素・燃料電池展【秋】



当社は、2021年9月29日から10月1日にかけて東京ビッグサイトで開催された「第1回 FC EXPO 水素・燃料電池展【秋】」に出展いたしました。

脱炭素化に向けた次世代技術とイノベーションの挑戦において、水素サプライチェーンの流量計測と校正までをワンストップショッピングで対応することを目指し、120MPa超高压形コリオリ流量計、超音波流量計、熱式質量流量計などを展示いたしました。また、参考出品として展示いたしました液体水素用渦流量計におきましては、多くのお客様の注目を集め、熱心にご覧頂きました。水素の輸送方式などで注目を集める液体水素ですが、当社の商品がこの新たなエネルギーのために一翼を担うことができるよう、より一層商品開発に努めてまいります。

開催中は悪天候の日もありましたが、多くのお客様にお越し頂き、水素や燃料電池に対する需要が高まりつつあることを実感いたしました。そのほか、お客様からの具体的なご相談やご要望に対し解決策を提案させて頂き、当社商品の優位性を認知頂いたことと思います。

今回の展示会で頂戴しましたご意見、ご要望をもとに、今後もお客様のお役に立てる商品開発、品質の向上に努めてまいります。

## 会社概要／株式関連情報（2021年9月30日現在）

## ■ 会社の概要

商号	株式会社 オーバル（英文商号：OVAL Corporation）
代表者	谷本 淳
創業	1949年（昭和24年）5月10日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
資本金	22億円
事業内容	1. 工業用計測機器および関連機器の製造・販売 2. 計装および制御・管理装置の製造・販売 3. 工業用計測機器および装置に関するメンテナンス業務、流量計の検定業務
従業員数	676名（連結）
本社	〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号 Tel.03-3360-5009（経営企画室）
主要事業所 子会社	横浜事業所、東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所 株式会社山梨オーバル、オーバルアシスタンス株式会社、株式会社 崎崎オーバル（以上国内）、HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.、HEFEI OVAL AUTOMATION CONTROL SYSTEM CO., LTD.（以上中国）、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.（シン ガポール）、OVAL TAIWAN CO., LTD.（台湾）、OVAL ENGINEERING INC.（韓国）、OVAL ENGINEERING SDN. BHD. （マレーシア）、OVAL Corporation of America（米国）

## ■ 取締役及び執行役員

代表取締役社長	谷本 淳	社外取締役 監査等委員	長野 和郎
取締役 兼 執行役員	浅沼 良夫	執行役員	小熊 仁
取締役 兼 執行役員	加藤 芳樹	執行役員	今井 信介
取締役 兼 執行役員	新國 誠治	執行役員	市村 隆博
社外取締役 常勤監査等委員	池上 幸定	執行役員	山森 康一
社外取締役 監査等委員	加瀬 豊		

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の 配当基準日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都郵便局私書箱第29号 Tel.0120-232-7111（通話料無料）
公告の方法	電子公告 URL <a href="https://www.oval.co.jp">https://www.oval.co.jp</a> （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

## ■ 株式の状況

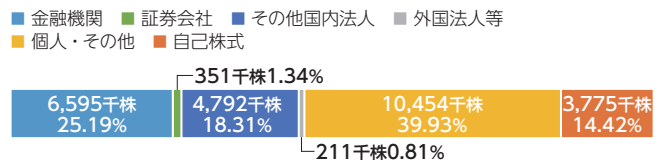
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	22,404,009株 （自己株式3,775,991株を除く）
株主数	5,765名

## 大株主の状況

株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,068	9.2
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
東京計器株式会社	1,309	5.8
轟産業株式会社	1,091	4.9
株式会社三笠	811	3.6
日本生命保険相互会社	691	3.1
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	529	2.4
横河電機株式会社	512	2.3
損害保険ジャパン株式会社	422	1.9
加島 淳一郎	355	1.6

（注）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## ■ 株式の分布状況



（ご注意）

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 オーバル

